



第401号 2007年7月1日

編集・発行

アカシア会

アカシア会事務局 住所・連絡先

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1

広大附高アカシア会館

TEL & FAX 082-253-5581

通算 484回 例会



母校を望む(平成19年5月13日 撮影：佐々木隆雄氏(57回) 場所：黄金山山顶展望台より)



平成19年度 アカシア会のご案内

懇親会費4,000円(76回以降の卒業生2,000円)。アカシア会員なら参加自由。お気軽に会場にお越し下さい。

平成19年度 アカシア会総会

7月例会は総会・懇親会となります。

○日時：平成19年7月17日(火)午後6時30分

○場所：アンデルセン(本通)4階

平成18年度事業・決算報告、監査報告

平成19年度事業計画・予算案 他

アトラクション シャンソン 仲マサコ(河野圭子)氏(45回)

〈8月以降月例会の予定〉

8月例会：8月17日(金)午後6時30分

○場所：アンデルセン(本通)

卓話「家族ががんになったとき～心という治癒力の効用～」

広島大学病院医系総合診療科准教授 佐伯俊成氏(69回)

9月例会：9月18日(火)午後6時30分

○場所：アンデルセン(本通)

音楽「魅惑のコーラス」DIVA VITAの皆さん

石田真仁愛氏(91回)ほか

10月例会：10月17日(水)午後6時30分

○場所：モーリー・マロンズ(帝劇会館4階)ライブルーム

卓話「一未定一」(株)東映監査役・元テレビ朝日取締役編成局長

皇 達也氏(50回)

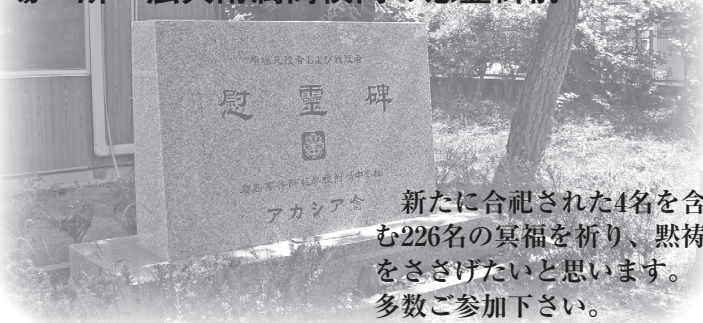
11月例会はウィルコム社長 喜久川政樹氏(72回)の予定です。

例会についてはアカシア会のホームページもご覧下さい。

原爆死没者および戦没者 追悼の集い

日時：8月6日(月)午前9時より

場所：広大附属高校内の慰霊碑前



新たに合祀された4名を含む226名の冥福を祈り、黙祷をささげたいと思います。多数ご参加下さい。

Contents

写真(母校を望む)、総会・月例会案内…	1	谷澤保氏を偲ぶ、近畿アカシア会…	9
アカシア夜話…	2	東京アカシア会、58東京アカシア…	10
新校長挨拶…	3	東海アカシア会、九州アカシア会…	11
総会議事資料…	3	同期会だより…	12
アカシア探検隊 河野俊嗣氏(73回)…	4	6月例会レポート…	14
友誼の御園…	6	教師列伝のご案内、寄付の報告	15
出てもらうてもええかいのお…	8	常任幹事会、事務局だより…	15
月例・会報アンケートの報告…	8	アカシア会報とホームページ…	16

アカシア夜話 アカシアンナイト 第1話



日本を動かすアカシア人脈

広島高師附属中学の初めての卒業式が行われたのは、1910年。以来、1万4千人以上の卒業生が、世紀を超えて、活躍を続けてきた。

アカシアの大先輩のエピソードをじっくり聞く「アカシア夜話」の1回目は、石井泰行・アカシア会会長(43回、賀茂鶴酒造会長)。昭和30~40年代、財界四天王と謳われ日本の高度成長をリードした永野重雄さん(9回)、櫻田武さん(12回)らの思い出を聞いた。

***** 財界四天王 破天荒永野さん(9回)

永野さんは、けた外れの人じゃったねー。理事長をしとられた大箱根CCで、アカシア会の仲間と連れだってゴルフを1ラウンドして、箱根の別荘へ行く。夕方まで碁を打って、午後8時頃から麻雀。私は、別荘のカウンターバーでめったに飲めんモルトウイスキーを飲んで、そのうち寝てしまうが、朝起きたら、まだガラガラ麻雀が続いとる。永野さんが勝ってるんだが、「これでみんな飲めや」と当時の金で10万円位ポンと出して、「それじゃわし、これからアメリカへ行ってくるけえ…」。徹マンしてそのまま、アメリカ出張に行くじゃけえ。永野さんとともに付きおうた人は何人死んどろうか(笑)。巨人、超人じゃったねえ。

《永野さんは、富士製鉄社長として戦後最大級といわれる八幡製鉄との合併を実現し、新日本製鉄を設立、初代会長に就任。日本鉄鋼連盟会長や日本商工会議所会頭など要職を歴任した》

永野さんに言われて、総評の太田薫議長に酒を届けたことがある。財界と労働界のそれぞれトップじゃが、二人は六高(第六高等学校・岡山)の柔道部の先輩、後輩の関係。永野さんは「太田いうのは、ひとかどの男よ」と認めていたし、春闘の時なんかでも、二人の間では話はずいといったんじゃないかと思うよ…。太田さん曰く、「永野さんが柔道が強かった理由は、柔道着を一回も洗ったことがないから。寝技で押さえられたら、臭うて、臭うて…」。そんな関係だった。

田舎もん？ 好物は庚午のイチジク

永野さんは案外、可愛いところもあって。シーズンになると、「石井！ 庚午のイチジク持ってこい」と言うので、広島駅前の果物屋で買って上京し、すぐに新日鉄の会長室に届けた。秘書も

心得たもんで、「ハイ、冷蔵庫へどうぞ」。永野さんは会長室でかぶりつく。「家へ持って帰ったら、田舎もんじゃ言うて、ばかにされるけえの」と言うてね。

財界四天王 清の櫻田さん(12回)

櫻田さんは清の人。東京アカシア会の総会用に、酒屋をしとる私がビールの寄付を集めて回った事が知れて、怒られてねえ。櫻田さんは若いもんに恥ずかしい事をさせちゃいけないと思うたんじゃないらうね。自分が社外役員をしとるアサヒビールから1箱届けさせたが、人数を考えると1箱じゃ足りん。私なら5箱はもろうてくるのにねえ。《櫻田さんも六高、東大法学部と進み、柔道部に在籍。日清紡績社長や日経連会長などを務め、ミスター日経連と呼ばれた。池田勇人内閣(1960~64)の頃には、永野、櫻田両先輩は、フジテレビや産経新聞の社長を務めた水野成夫、影の財界総理と言われた小林中と共に、財界四天王と称された》



東京アカシア会 同窓会はOBの手で

東京アカシア会は、戦後4、5年たってスタートしたアカシア出身の財界人の集まり「槐(えんじゅ)会」が前身で、広島のアカシア会より歴史がある。昭和32(1957)年に私が東京アカシア会に招集された頃は、永野さんの弟の俊雄さん(12回)が五洋建設の社長をしておられた関係で、五洋建設の秘書課が事務局になっていた。同窓会の仕事を秘書に手伝わせちゃいけないということで、春と秋の総会の前になると上野で鉄道の信号関係の会社をしとられた三好正さん(21回)の事務所に集まるようになってね。事務局の中心は、洋傘の会社を経営しとられた山岡敏雄さん(29回)や保険会社で役員をされていた戸井正典さん(24回)。私も1合瓶を上着の両ポケットに入れて通ったもんです。《自署名簿に「商売人になる」と書いた石井会長は、早稲田大学卒業後、賀茂鶴の東京出張所に入社。1979年まで23年間、東京で配達や営業を担

当しながら、東京アカシア会の活動を支えた》

公私の区別厳しく

その頃はまだ1回の先輩から来とられてねえ。年配のOBも老眼鏡をずり上げて、名簿の整理や案内の発送をしたもんよ。硝子メーカーの役員をしておられた森本政吉さん(2回)や、日本開発銀行総裁を務めておられた太田利三郎さん(10回)らも、公私の区別ははっきりさせて、おつきの車は使わず、地下鉄を乗り継いで出席されとりました。

東京アカシア会の会計が、6円合わん事があってね。半年に1回、総会の後に計算するだけなんで、無理もないが。櫻田さんや永野兄弟、その弟で日本航空会長を務めた伍堂輝雄さん(14回)に叱られるんじゃが、どうしても合わん。6円くらい誰かが出しゃあええようじゃが、そういうもんじゃない。そのへんはきっちりしとったねえ。

《1980年前後には、田中敬・大蔵事務次官(32回)、井内慶次郎・文部事務次官(32回)、栗屋敏信・建設事務次官(35回)と、官僚の3トップをアカシア会員が占めた》

破格の3次官祝賀会

銘木店の藤居平一さん(24回)が永野さんや櫻田さんに声をかけて、新橋の料亭でお祝いの会をした。会費が3千円じゃというんで、櫻田さんは「安いじゃないか」という普通の反応だが、永野さんは「この料亭の女将は、藤居の(小指を立てて)コレじゃったんか」。発想もユニークな人でした。あとで勘定をみたら1ケタ違うとったけど…。

私は、酒屋をしとったんで、どこへでも入っていけるし、飲むのが仕事じゃけえ、いろんな話を聞かせてもらえる。永野俊雄さんの長男の泰道さん(41回)、次男俊次君(43回)も同窓で、私も永野さんにとっては、息子みたいなもんじゃったんじゃないらうね。息子には話せんことも言えたんじゃないかな。

目を細めて、20~30歳代の青春時代を語る石井会長の笑顔はやんちゃ坊主そのもの。半世紀前のことなのに、諸先輩の名前がポンポン飛び出し、当時の東京アカシア会の雰囲気伝える秘話が次々と披露された。夜のアカシア人脈は、日本を動かしてきたのか！！

アカシア会の自由な気風と、公私をはっきり峻別する美点を受け継ぎ、伝えていくのが、石井会長に続く世代の使命だろう。

【2007年4月10日、東広島市西条本町9-11、Tel.082-422-8008の仏蘭西屋(賀茂鶴酒造直営店)で取材。文責：山手秀之(70回)、甲斐稔(63回)】

附属学校校長に就任して

学校長 安原 義仁

附属学校校長就任の話はまさに晴天の霹靂でした。私は教育学部出身で教育学を専攻し、教育学部・大学院教育学研究科に大学教師として奉職しておりますが、教員免許を持っておらず、したがって附属学校に教育実習に行ったこともなければ、学校の教壇に立ったこともなかったからです。専門も西洋教育史という教育の実践現場とは直接関係しない、きわめて地味かつ基礎的な分野です。ただ、長男が高校でお世話になりましたし、みぢかな親類に二人アカシア会員がおり、附属のことはいろいろ聞いて何となく親しみは感じておりました。

そういう状態のまま、この4月に校長に就任しました。しかも小・中・高等学校の三校の校長の兼任です。大学が本務ですから4つの仕事を一人で担う

というかたちです。もちろん、各学校には副校長がいますので負担は額面どおりではありませんが、それでも校長という仕事はたいへん責任の重いものであることを日々、実感しております。とりわけ、百有余年の歴史と伝統を有し、アカシア会という強力無比の同窓会を持つ高等学校の校長というのは、名誉に思い光栄と存じますが、たいへんなプレッシャーです。そのプレッシャーを感じながら、目下、2ヶ月を経ました。学校現場では毎日、実にさまざまなことが起こります。私にとって日々新鮮な経験の連続です。教育について研究する者として、遅ればせの「教育実習」というところでしょうか。

不慣れな新米校長ですが、校長に就任した以上、副校長はじめみなさんの協力と支援をいただきながら、附属高



校の今後のさらなる発展のために微力を尽くしたいと思っております。現今の附属学校を取り巻く状況にはきわめて厳しいものがあります。この荒海を乗り切っていくには教職員はじめ関係者一同の強い結束力と知恵が必要不可欠です。アカシア会のみならずには今後も引き続き、さまざまな面でお力添えをお願いすることになると思えます。その節はどうぞよろしくお申し上げます。

総会議事資料

平成18年度 アカシア会 収支計算書

自：平成18年4月1日～至：平成19年3月31日

会長 石井 泰行
幹事長 大方 幸三
会計幹事 畑 秀樹
(単位：円)

■当年度会計の部

収入の部		支出の部	
会員終身会費	220,000	会報発行費	2,968,654
会員年会費	17,000	名簿発行費	4,058,346
準会員入会費	0	通信費	38,731
新卒者終身会費	1,970,000	電話料	37,692
新卒者入会金	985,000	旅費交通費	337,380
名簿代金	2,170,000	会議費	96,521
広告料	2,910,000	人件費	1,657,663
預金利息	679	事務用品費	62,263
アカシア基金運用益	49,022	母校宛寄付金	70,000
寄付金収入	1,000,000	手数料	16,105
雑収入	183,840	雑費	60,690
その他の収入	226,692	器具備品費	41,370
		SS講座諸経費	469,308
		その他の支出	60,220
		支出の部合計	9,974,943
		当年度剰余金	▲242,710
収入の部合計	9,732,233	合計	9,732,233

■余剰金の部(円)

前年度繰越額	566,609
当年度剰余金	▲242,710
基金受入額	3,000,000
差引翌年度繰越額	3,323,899

■アカシア基金の部(円)

前年度繰越額	18,700,000
当年度受入額	13,000,000
基金支出金	▲3,000,000
差引翌年度繰越額	28,700,000

監査報告書

上記収支計算書および財産目録につき監査の結果、適正に経理されていることを認めます。
平成19年6月6日 監事 松本 峯春 監事 寺越 慎一

■総会で審議予定の議案

◆平成18年度の事業・決算報告

(1) 事業報告

- ・アカシア会報と名簿の発行
会報 平成18年7月 11,600部
平成19年1月 11,600部
名簿 平成19年2月 1,100部
- ・各地区アカシア会との連携強化

(2) 決算報告

(3) 監査報告

◆平成19年度事業計画・予算案

(1) 事業計画

- ・アカシア会報の発行
会報 平成19年7月 11,700部
平成20年1月 11,700部
- ・各地区アカシア会との連携強化

(2) 予算案(略)

◆その他

仲マサコ (45回生) 50周年リサイタル

日時：2007年9月24日(振替休日) 16時開演(15時30分開場)

会場：アステールプラザ大ホール(広島市中区加古町)

入場券：S席:5,500円 A席:4,500円(前売各500円引き)

曲目：詩人の魂、バラ色の人生、ロマンス、アコーディオン弾き、アデュー、過ぎ去りし青春の日々、他
ゲスト出演：宮瀬 征子 主催：広島シャンソン協会、仲マサコファンクラブ、中国新聞社

前売券取扱所：デオデオ本店 ☎082-247-5111、ヤマハ広島店 ☎082-244-3779、

中国新聞社読者広報センター ☎082-236-2455

お問い合わせ：広島シャンソン協会(音楽教室ドルチェ内) ☎082-567-7414

愛の灯 チャリティーコンサート シャンソン歌手デビュー50周年記念





中：おーい。そろそろ全国版会報のインタビュー記事を「どげんかせんといかん」時期になったのう。

谷：って、まあメディアに影響されやすい性格ですねえ。なんなら話題の宮崎県庁を見学して、地鶏と焼酎を味わいに行きますか？

中：おー、そりゃエエのう。ほいじゃがインタビュー記事とは関係ないじゃろう。

谷：それがあるんですよ。ワシと同期の人間が宮崎県の副知事に就任したんです。彼にインタビューしに行けばいいじゃないですか。

中：おっしゃー、それいこう！ついでにそのまま東にも会えるかのう？アポとってくれや。

谷：（「そのまんま東」じゃろう。それに東国原知事にそう簡単に会えるわけじゃないじゃん！）あれ、隊長も行くんですか？前は一人で取材して来いって言ってたじゃないですか？

中：いや。こうなったら話は別じゃ。ワシもそのまま東に会うぞ！

谷：（だから「そのまんま東」！、それに副知事に会いに行くんじゃないかい。）…。

ということで、今回は73回の河野俊嗣（このしゅんじ）さんの登場です。が、その前に。宮崎へは広島西飛行場から向かったわけですが、急に隊長が「サイン色紙が要る！」と騒ぎ出し、コンビニに走らされましたが、どこのコンビニでも色紙は売っていない事が判明。（何故なんですかねえ？誰か教えて。）出発時間が迫る中「何とかせー！」とワガママな隊長。そこでふと思ったのが「サンフレッチェの事務所（広島西飛行場に隣接）に行けばあるかも。」



空港に降りたらそこは南国

話すと快く自腹を切って色紙をご提供頂きました。本当にアカシアは有難い!!



中：本日は大変お忙しいところ、お時間を割いていただき有難うございます。

河：ようこそ宮崎へ。よくお越しく下さいました。それにしても私なんかでいいんですかねえ。とても光栄に思う反面、立派な先輩方を差し置いて、なんだか気が引けます。

中：まあそう思わずに。早速ですが、在学中の頃の思い出を教えてくださいませんか？

河：そうですね。私は高校から附属に入ったのですが、まずは学校の雰囲気一度肝を抜かれましたね。厳しい受験を経て入学して、緊張してはいたんですが、自由奔放な空気が漂っている事に衝撃を受けました。また、小・中からの生徒もいるので溶け込むのに苦労するかなと心配してはいたんですが、クラブ活動や体育祭の準備活動をするうちに、すぐに溶け込めましたね。その体育祭ですが、これにも本当にびっくりしました。極力生徒の力で企画・準備・運営する事はもちろん、壮大なスケールや独特の雰囲気には圧倒されました。応援団では結構しごかれましたね。とにかく自分が持っていた「進学校」というイメージが跡形も無く吹っ飛びましたよ。

谷：クラブはサッカー班でしたよね。

河：小さい頃からサッカーが好きだったんですが、残念なことに中学にはサッカー部がありませんでした。高校に入って、いよいよ伝統のサッカー班でサッカーが出来ると楽しみにしていたのですが、実は入学当初は入っていませんでした。同学年の友野芳治君に相談したところ、ちょっとタイミングを凶った方がいいというアドバイスを受けてました。というのも、当時の3年生（71回学年）は非常に強かったんです。全国大会出場が有望視されていた関係で練習が非常に厳しく、呉からの通学組だった私は、学校の雰囲気に



県庁は人気の観光スポットで大勢の人が訪れる



P r o f i l e

昭和39年9月8日広島県呉市生まれ、昭和63年3月東京大学法学部卒業、同年4月自治省入省、同年7月宮城県総務部地方課、平成元年8月宮城県総務部財政課、2年6月人事院長期在外研修（ハーバード・ロー・スクール卒業）、5年4月春日井市企画調整部長、7年4月国土庁土地局土地政策課課長補佐、9年4月埼玉県総合政策部市町村課長、10年4月埼玉県総合政策部まちづくり支援課長、11年4月埼玉県総務部財政課長、平成13年4月総務省自治行政局自治政策課課長補佐、15年4月総務省自治行政局自治政策課理事官、同年7月総務省自治財政局地方債課理事官、16年4月総務省自治税務局企画課税務企画官、17年4月宮崎県総務部長、19年2月宮崎県副知事

慣れてからにした方が良いということ。で、当初は新人戦に人数が足りないバスケット班で試合に出たりしてました。蓼原太君には「強肩で体つきもいい。野球班に入らないか。」と誘われましたが、やっぱりサッカーが好きでしたので、1年の秋頃に入りました。

中：高校卒業後は東京大学に進学され、卒業後、当時の自治省（現総務省）に入省されたわけですが。

河：当初は外交官になりたかったんです。附属に入って、「世の中には様々な人間がいるなあ」と再認識したのですが、それこそ世界中のいろんな人々と付き合い、幅広く経験を積み、自分を高めて日本の役に立ちたいと思ってた訳です。それが、自治省に入った大学サッカー部の先輩に洗脳されてあっさり転向しました。先輩曰く「外交も重要である。しかし足元の内政を固めることもそれ以上に重要だ。」と。それぞれの地域を活性化させる事で日本全体を元気にするという仕事に、とても魅力を感じました。

中：自治関係の国家公務員の仕事について教えてくださいませんか？

河：自治省と他省の違いは、4月に入省したら7月には早速地方自治体に向向して現場勤務を命ぜられる事です。そして地方の勤務と東京での本省勤務を繰り返し、大体半々の割合になります。私の場合も、宮崎県は4箇所目の地方勤務になります。最初はヒラで地方の現場に出されるのですが、その次

以降は課長、部長といった役付で出向します。それが結構な人間修行になります。年上の自治体職員を部下に持って仕事をする場面も当然あるわけですから。その地方の歴史・風土・県民性などに十分配慮しながら仕事を進めないといけません。先の先輩が言った「自治省は人間道場だ。」という事を身をもって感じています。とにかく現場重視、現場主義の仕事であることは間違いありません。仕事柄当たり前なのでしょうが、地方の事を知らず、中央の論理だけで物事を進めようとする一部の役人や識者の方々と戦うこともありますよ。

谷：昨年末に広島で73回同期会がありました。その時に数ヶ月後に副知事に、そして宮崎がこんなに注目されるなんて想像出来ましたか？（当時は宮崎県総務部長）

河：いやいや。まさか、まさかですよ。それに当時の心境としては、とても先の事を考えるような余裕は無かったです。11月に官製談合事件が発覚して、福島・和歌山・宮崎と「ダンゴウ三兄弟」と言われました。知事、出納長が逮捕されて、県庁をリードする人間が居なくなったわけですから、それこそ大騒ぎ。前知事の辞任で知事選になりましたが、現知事も、最初は泡沫候補と報道されていました。タレント出身の



この後、県知事とまさかの御対面が…

首長を生んだ東京や大阪とは違うぞという見方が大半でした。それが選挙戦中盤あたりから「そのまんま東がいいぞ。」と言う声上がり始め、それが一気になだれを打って広まった感じでした。「宮崎をどげんかせんといかん」などと宮崎弁を使い、タレントの応援は一切頼まず、北野事務所を辞めて退路を断った姿や、分かり易くてきちんとしたマニフェストを作った事、そしてさすがにスピーチ、演説が上手いわけ。それらの事からガッチリ県民の心を掴んだようですね。

中：選挙後、副知事になる事は予想されましたか？

河：これも青天の霹靂でした。当初は対立候補だった方に就任を要請する方

針を表明されてましたし。ですから、各方面の声を受けて「仮にお願いしたら受けてくれるか？」と内々の打診を受けてからは、緊張しましたね。マスコミにも追いかけて。その後「あなたに決めたからお願いします。」と言われた時は「大変な事になる」と感じました。それから議会で選任同意をいただくまでは長かったです。

☆☆ っと、突然知事乱入!! ☆☆

東：なんか私の話をされているみたいですね。

河：実は、私の出身高校の機関紙の全国版の取材に広島から来られて。

東：おーそれは、それは。遠いところをよくいらっやいました。「ようこそ宮崎へ」です。広島といえば、カープやサンフレッチェさんには長年キャンプ地として宮崎を使って頂いてお世話になっています。

河：そのカープのオーナー（松田元氏：59回）や総務部長（関谷康氏：60回）も同窓ですし、サンフレッチェのGM（高田豊治氏：56回）やスタッフにも（谷本罔之氏：53回、田村誠氏：60回、織田秀和氏：70回）、同窓がたくさんいるんですよ。

東：へー。世の中、私の額みたい広いようで、狭いもんですね。これをご縁に、より一層ごひいきにお願いしますよ。ところで今日はお泊りですか？

中：いや観光ではないので、日帰りです。ですが改めてまた来たいです。

東：そうですか。それは残念。では、たくさんお土産を買って頂いて、宮崎にしっかりお金を落として帰ってくださいね。ただし道端に落としちゃダメですよ。（笑）

谷：（隊長につつかれ、ソーっと色紙を差し出す）あのおう…。

東：ハイハイ。OKですよー。〈サラサラサラ〉では仕事がありますので。ごゆっくりなさってくださいねー。

☆☆ っと、突然知事退室!! ☆☆



左から河野俊嗣氏(73回)、東国原英夫知事、谷口公啓(73回)、中本泰弘(65回)

谷：いや〜。びっくりした。河：「宮崎のセールスマン」を自認されるぐらいだから、非常に気さくな方ですよ。

中：話は変わって、アカシアのメンバーへのメッセージをお願いします。

河：メンバーの皆さんは各界で活躍されていますが、それがアカシアという目に見えない糸で繋がっている事を強く感じます。その一人でいられる事をとて有難く思います。これまで多くの先輩にお世話になりました。これからも、この連帯感を大切にしていきたいと思っておりますので、皆様宜しくお願い致します。

谷：現役生徒諸君にもメッセージをお願いします。

河：同窓会というもの卒業して時間が経つほど懐かしく感じるものですね。特にアカシア会の場合は、組織もしっかりしていますし、それが顕著だと思います。将来のアカシア会のメンバーとして、誇りを持って学校生活をエンジョイし、そして友人をたくさん作って欲しいですね。「自由・自主・自律」精神の本当の意味を考えながら。

中：本日はお忙しいところ、有難うございました。



谷：東国原知事は、実際どうなん？

河：最初はどうなることかと心配したけど、知事は頭のいい方だし、真剣に仕事に取り組んでおられるよ。そんな知事の代わりは誰にも務まらないね。副知事だから知事の代理で会議、会合等に出る機会も多いけど、そんな時に痛感する。それを逆手に取って「副知事の河野です。(知事じゃなく)皆さんをがっかりさせてすみませんネ。」って挨拶を始めると結構受けるよ。知事の勢いを感じるね。でも、知事と常々話しているのは「今はブーム。ブームは必ず去るから、その時どれだけ踏ん張れるかがポイント。」って事。

谷：へー。しっかりしとるのう。大変じゃろうが頑張ってくれや。

河：有難う。帰りに「完熟マンゴー」買うのを忘れるなよ。

谷：副知事さんもしっかりしとるわい。

<読者の皆様。いつもながら一部フィクションが含まれていることをお忘れなく。>

中本泰弘(65回)
谷口公啓(73回)

友誼の御園 ～母校だより～ アカシア賞・アカシア奨励賞

附属独自の賞として、アカシア賞をご記憶の皆様も多いことでしょう。優れた活動を表彰し、学校の一層の活性化を図る目的で創設され、幾度かの変遷を経つつ、今に至っています。

1951(昭和26)年
アカシア賞創設。

1957(昭和32)年
「体育部門」「準アカシア賞」新設。
中学校にも適用。

1959(昭和34)年
「特別教育活動部門」新設。

1986(昭和61)年
部門を「科学研究活動」「芸術・文化活動」「体育活動」「特別教育活動」

に整理。「準アカシア賞」を「アカシア奨励賞」に改称。

様々な活躍の跡は『創立百年史』をご参照いただくとして、ここでは最新情報をお届けします。



2006年度アカシア賞受賞

進矢 陽介 (2007年3月卒業)

〈第50回全日本学生科学賞入選1等、
科学技術政策担当大臣賞受賞〉

テーマは「亜光速で飛ぶ宇宙船から見る星々スターボウのシミュレーション」ソリューション部門の最終選考に通り、2006年12月22・23の両日、東京ビックサイトにおいてプレゼンテーションを行い、中高合わせてただ1点の賞である科学技術政策担当大臣賞を受賞！授賞式後、秋篠宮両殿下へのプレゼンテーションも立派に務めました。以下に、アカシア賞授与式でのスピーチのごく一部を掲載します。



.....
僕の研究は、スターボウという現象を、コンピュータシミュレーションにより検証するものです。スターボウとは、宇宙船が光速に近い速度で飛んだとき、特殊相対性理論の光行差現象と光のドップラー効果に基づき「星が虹のように見えるのではないか」という予想のことです。シミュレーションの結果、①星は虹のようには見えない。(同一の線スペクトルとすると、虹が見える。実際の星の温度から求めた黒体放射の連続スペクトルとすると宇宙マイクロ波背景放射が光行差による面積圧縮で太陽の1垓倍の明るさにまでなるため、-16~-30等級においては、グレア効果のハロによりほぼ確実に虹が見えると結論)②しかし、宇宙背景放射によって虹が見える。ということが分かりました。

表彰式では、「広島大学附属高校」の「ひろ…」を聞いた瞬間は忘れられません。自分の研究が認められた喜び、一年半の努力・苦勞が報われた安堵が一気にあふれ出した感じでした。

他の人には真似できない、「何か」自分の得意なもの、好きなもの、やりたいものを極限までやりつめて下さい。高3になってからも論文を書いたり、日本天文学会に行ったり。今回の学生科学賞まで、実に一年半にわたって研究を続けた成果がこれです。

今なら自信をもって言えます。「他のどの研究にも負けていない」と。

2006年度アカシア奨励賞受賞

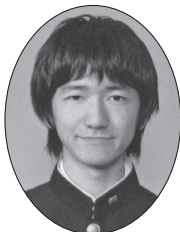
(高校2007年3月卒業)

(中学校2007年3月卒業)

☆科学研究部門☆

☆体育活動部門☆

☆芸術・文化活動部門☆



久保田 健

中濱 正統

森脇 段

椎木麻姫子

平岡 望

安藤 友希

【第50回広島県科学賞特選】
「風車の回転数を決定する要因」

【高校総体出場】
(なぎなた)

【国民体育大会出場】
(バスケットボール)

【税についての作文】
(日本税理士会連合会会長賞)

Super Science High School 2007 —実績の上に新たな発展を求めて—

平成15年度より4年間続いた実績を承けて、今年度新たな研究開発課題《「持続可能な開発」に創造的に取り組む科学者・技術者を育成する教育課程の研究》を申請し、全国101指定校の1校として、再びスーパーサイエンスハイスクール指定(平成19~23年度)を受けたことはお耳に達しているかと存じます。

今回のテーマは、地球環境と人間の共生に立脚した地球社会の「持続可能性」を基底に据えた研究の担い手である科学者・技術者を育成するために必要な教育を追求しようというもので、昭和28年から積み重ねてきたユネスコ協同学校としての実績も生かしたいと考えています。

SSHに伴い、高II・III年にSSクラスを1クラス設け、理数系の課題研究などにじっくりと取り組む教育課程を実施し、現高校II年生がその4期生にあたります。先日、生徒たちの声を取材し、思いを探ってみました。

.....

それぞれに一生懸命な生徒たちの姿が伝わったでしょうか。各方面でご活躍のアカシア会員の皆様には、ご指導ご助言等、これまでも増して母校へのご支援を賜りたいと存じます。

■SSHに対してどんなイメージをもっていましたか。

☺すごい予算があって、外国に行けると思っていたんですけど、そうじゃありませんでした。☺もっと科学オタクみたいな会話が行き交う雰囲気かと思っていたけど、違いましたね。☺普通の高校レベルではないハイレベルな研究を想像していましたが、限界もあるみたいですね。企業などともつながりをもちたいと思っていたのですが。

■SSクラスを希望したきっかけや理由は何だったんでしょうか。

☺与えられたものでなく自分たちで何か考えてやってみることが魅力でした。先輩たちを見て、自分もプレゼンで自己表現がうまくできるようになりたいとも思いました。☺高校生活を今のままではなく、何かチャレンジして、充実したものにしたかったんです。ええ、クラブとはまた違いますね。

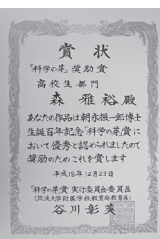
■今、どんなテーマで研究しようとしていますか。

☺砂について研究しようとしています。2種類の砂を筒に入れて、混ぜれば混ぜるほど、きれいに分離するんです。この理屈を考えようかと。実験装置は相当高価らしく、自分たちで作ってみたいです。☺面白そうなテーマはいくつか考えましたが、全部先生に無理とか今までと同じだとか言われてしまって、さんざん調べてみたけど本当に困りました。シャボン玉が水面で消えたりバウンドしたりすることとか、飛行機のこととか、いろんなこと考えたんですが。高校生で流体力学を極めることはちょっと無理かと。ちょっとショックだったんですが、砂の実験をしたとき、これだ!と思いました。

■研究の方向性、または将来の夢や展望などを聞かせてください。

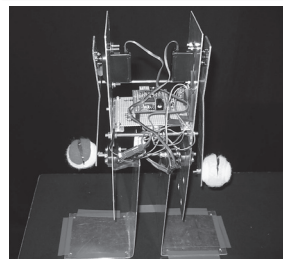
☺やっぱり賞をとれるような研究をしたいですね。大きな目標です。☺何か役に立つ研究をしたい。社会貢献! 組織培養の研究は、世界平和のために絶対役に立ちます。☺生物の本能に興味があって生物時計について研究していますが、人間に大切なのは自然を愛する心ですね。☺特殊な鍋の保温について研究していますが、これが将来的にはエネルギー問題やCO₂削減に役立つといいなと思っています。環境問題に関心があるので、将来は環境省で働きたいと思っています。

朝永振一郎博士生誕百年記念 「科学の芽」奨励賞



「アリはでたらめに動いて餌を探しているのか」
林 省吾、内堀健矢、森 雅裕、菊本 舞
(高校III年)

日本産業技術学会奨励賞



「おとととロボット」
兼田大史、松田真伍
(2007年3月卒業)

第50回広島県科学賞入選



「人体下肢の筋硬度・関節可動域の推移による
ストレッチの効果」
片山法子、椎木麻姫子(2007年3月卒業)

定期演奏会のお知らせ

以下の日程で本校管弦楽班・合唱班が定期演奏会を行います。ぜひお越しください。

管弦楽班 第31回定期演奏会

日時：2007年8月11日(土) 17時開演
場所：アステールプラザ大ホール
演目：ドヴォルザーク作曲 交響曲第7番 ほか

合唱班 第1回定期演奏会

日時：2007年8月5日(日) 14時開演
場所：本校講堂
演目：「めぐりあい」「夢みたものは」「落葉松」ほか

藤田典子(64回)さんからのご紹介



自己紹介と、次号の登場人物の紹介をいただくコーナーです。
①原田 浩(48回)
②広島市安佐南区
③広島市で主に国際・平和・文化行政を担当。学内外で初めて旅行班を設立し、旅行文化を研究、職員は80名を超え最大規模になりましたが、後継者がなく廃止になったのは残念でした。しかし、友人達の協力も得て小学校からの旅の記録をまとめアカシア賞を受賞し感激しました。初旅からすでに58年、JR走行距離は25万km(赤道6周余)を超えました。
④いつも元気はつらつ、何ごとにも前向きな性格は、よい見本。乞うご期待!

進藤英朗(88回)さんからのご紹介



①角本 法子(84回)
②広島市東区
③附属では管弦楽に夢中、チェロに名前をつけてかわいがっていました。大学院でちよこつと細菌学をかじりましたが、黄色ブドウ球菌よりは大きい生き物がいいなと、現在は大病院で小児歯科医として働いています。明るく素直な子どもたちに、元気をもらって毎日です。毎年春には附属を訪ね、なつかしの理科室で歯科検診を担当するのが楽しみです。
④管弦楽班の先輩で、今も休日はトロンボーンを吹くIT関連企業の独身貴族です。

出てもうしても ええがいのま

会員リレー紹介④

- 項目説明
①お名前と卒業回数
②お住まい
③お仕事、自己紹介、母校の思い出
④次号の登場人物とあなたの関係

「月例アカシア懇談会」及び「会報アカシア」に関するアンケート調査の結果

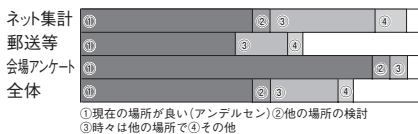
広島アカシア会では「月例アカシア懇談会」及び「会報アカシア」の内容を充実し、魅力ある月例会、読みたくなる会報にするためのアンケート調査を実施しました。集計結果は別表のとおりです。2003年には7月総会に出席した方を対象にアンケートを実施しましたが、今回は、8月・9月の月例会出席者だけでなく、月例会報にも同封し、FAX、ホームページを利用して、幅広く意見を得ることができました。このアンケート結果は、広島アカシア会月例担当部会及び会報編集委員会で検討し、反映していくこととしております。ご協力いただいた皆様には紙面を借りてお礼申し上げます。

Table with columns: 区分, 性別 (男, 女, 不明), 計. Rows: ネット集計, 郵送等, 会場アンケート, 計.

Table with columns: 区分, 卒業回 (~40, 41~, 51~, 61~, 71~, 不明), 計. Rows: ネット集計, 郵送等, 会場アンケート, 計.

月例会について

開催場所



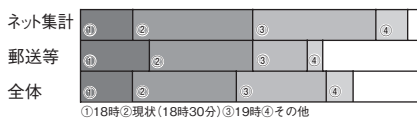
開催回数



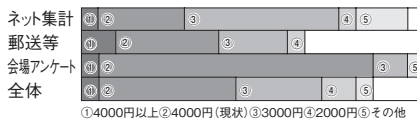
開催日



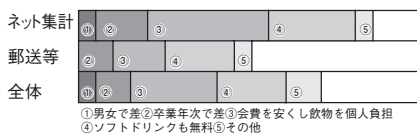
開始時間



会費金額



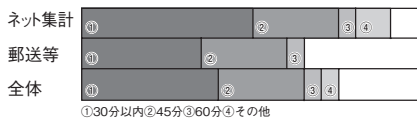
会費の負担方法



卓話の有無



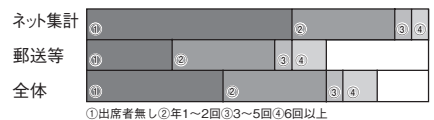
卓話の時間



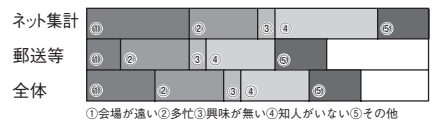
卓話者について



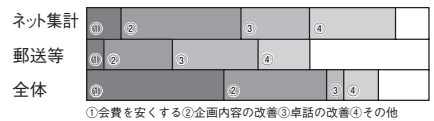
出席回数



出席しない理由

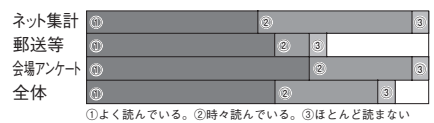


出席者を増やす方策



会報について

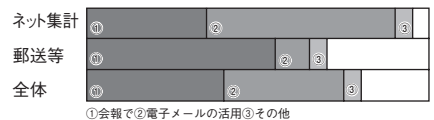
会報を読むか



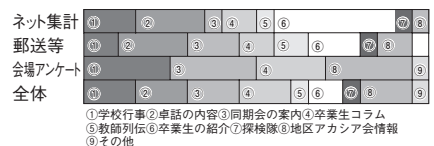
発行回数



例会等の伝達方法



希望記事



グラフの白い部分は、回答振り分け不可(未記入など)を示しています。

二梓(1/5頁) 月例版3万円 全国版4万円
一梓(1/10頁) 月例版1.5万円 全国版2万円

お問い合わせ・お申し込みは事務局まで

谷澤 保氏を偲ぶ

アカシア会会長
石井 泰行(43回)

平成19年1月10日、近畿アカシア会の前々会長・谷澤 保先輩(34回)が卒然として逝かれた。

広島から近畿アカシア会の例会に出席した学校長・副校長・同窓会の役員総ての人が体験したのだが、会が終わって広島勢が帰る時会場の玄関まで会長御自身が送ってくださり、タクシー迄手配されるその真摯な態度には吾々後輩として人間として反省しきりで、本当に頭の下がる想いでした。

お許しを頂いて私事に亘って述べさせて頂くと、広島ターミナルホテル(現



ホテルグランヴィア広島)の初代社長の角尾さん・私の娘婿の父親の一本松さん・谷澤さんの3人が、同時期に阪急の専務取締役だったのが後に判りました。ターミナルホテルの納入

会の会長をしておりました私にとっては、この3人を知っていることは大変な強みでした。

又1年に2回程行われる東広島市の説明会で東京・大阪がメインになるのですが、東広島市長に牟田広島大学学長・榎サタケの佐竹利子代表・私が随行する時も大阪財界の人選やアドバイスを頂き大変御世話になりました。

更に東広島市西条小学校で私の従兄弟と同級生だということが判り谷澤会長も懐かしい西条営林署の官舎の跡地などの話に花が咲きました。

御趣味の中の一つに古銭の収集が有り、私も昭和9年つまり生まれた年の銀貨を頂き、今も大切にしております。安芸門徒の私としましては、御浄土で蓮の形の古銭を手にとってニコリされている笑顔が目浮かぶのです。

近畿発

近畿アカシア会 前期総会

6月10日(日)ホテル阪急インターナショナル「花風の間」で近畿アカシア会前期総会が開催された。

◆谷澤元会長を偲ぶひとときと総会

今回は総会に先立ち、第一部として今年1月にご逝去された、近畿アカシア会のために永年にわたりご尽力頂いた谷澤 保元会長(34回)を偲ぶひとときを持った。会場正面演壇に近畿アカシア会でお元気にお話しされていた様子を写した遺影を据え、皇 暢子副会長(46回)の司会で始めた。谷澤元会長の闊達なお人柄を考慮し敢えて「黙禱」は行わず、同期生の赤松 清氏(34回)による谷澤氏の心優しいエピソードを交えたお話の後、上野徳恵さん(45回)の「千の風になって」の独唱をもって故人を偲んだ。



「千の風になって」を捧げる上野徳恵さん(45回)

続いて第二部の総会に移り、堀内重明会長(50回)の挨拶のあと議事に進み、岡 國太郎幹事長(57回)から前年度決算報告の後、見門忠雄監査役(46回)から「経理処理上いかなげな点はいっさいありませんでした」との監査報告があり拍手をもって承認された。同様に今年度予算案も全員の拍手で承認された。

◆会食・歓談・新校長卓話

第三部会食・懇親会は司会を加藤由紀子幹事(60回)が担当し始まった。乾杯のご発声は出席者中最高齢である澤

田 恂氏(30回)をお願いして会食の時となった。今回は中国料理による回転式テーブルスタイルとし、各テーブルには学生会員を配し新旧会員交流の場とした。その結果、各テーブルとも落ち着いた雰囲気の中で話が弾んでいた様子だった。

会食のひとときを縫って、今年度から新たに附属学校、すなわち附属小学校から高校までの兼務校長となられた安原義仁第25代校長による「附属学校と私」と題するお話を伺った。校長就任早々、校長室でご子息の墨書された自署名簿を見せられたことからお話は始まった。お話の中では、行政改革のもと学校を取り巻く厳しい現状ではあるが、校舎の安全対策や学園としてのふさわしい雰囲気作りのために構内の環境整備改善に尽力することを力強く披瀝された。併せて「アカシア会」という同窓会の絆と存在を誇りとしていきたいので、益々のご協力を会員各位に御願したい旨を述べられた。その後、原田良三副校長よりサッカー班は県大会の出場を逃したが、アーチェリー、剣道、卓球の各班が中国大会出場を果たした旨の報告もあった。

◆出席者スピーチ & アカシアソング

その後は来賓の向井恒雄全国アカシア会副会長(50回)をはじめ、広島からお越しくくださった大谷 正(37回)、新井俊一郎



谷澤氏の遺影とともに

(41回) 両氏や、初参加の山崎恭弘(41回)、三宅稔男(61回)各氏のスピーチがあった。続いて現役学生2名と、新入会歓迎の意味で今回無料招待した97回生の参加者17名の自己紹介があり、若やいだ雰囲気が会場にあふれた。その後は恒例の「Let's Sing “アカシアソング”」としてアカシアソング数曲を全員で歌い、校歌斉唱で幕となった。

岡 國太郎 (57回)

前出以外の出席者：横山智昭(ピアニスト)、(34)河原邑安、(35)脇野 務、(37)壺井 進、(38)香川 昇、川本和良、(41)村田好正、(43)大上威雄、熊本直文、黒田昭夫、藤井侃二、宮本真亘、米澤啓明、武内里子、(44)井口卓也、内海直志、春日幸子、(45)日下善道、(46)生塩之敬、山崎英子、(50)埴本勝司、(51)清水邦夫、(57)西村律子、西山由里子、(62)豊島秀郎、(64)田頭史明、(94)井手野下美幸、(95)山本ゆりえ、(97)滝口博貴、徳永祐也、川村美貴、下程由博、岩尾歩美、石川千弘、芝 隆宏、西田結衣、平松弓佳、橋本雄飛、石井 茜、玉上詩織、藤川千紗、北里龍馬、濱田一茂、鶴殿淳之介、奥村武嗣



東京発

東京アカシア会 春季総会・懇親会

去る5月26日(土)、東京大学本郷キャンパス内の「山上会館」において東京アカシア会平成19年度総会・春季懇親会が開催されました。今回は、開催日を例年の平日夜から週末に変更。講演会と総会・懇親会の二部構成は、初の試みです。会場となった本郷キャンパスは、折しも「五月祭(東大の学園祭)」の最中で、出席者の皆様には、学生の人波を掻き分けて山上会館へお越しいただきました。参加者数は大盛況だった昨年度秋季を上回る、総勢174名。内、学生の参加が41名と、華やいだ雰囲気でした。

<フィールドも世代も異なるお二方による講演会>

第一部の講演会は、浅野間一夫氏(60回)の悠揚迫らざる司会で始まりしました。お一人目の講師は、国立天文台長の観山正見氏(60回)。「大宇宙と私たち」というテーマで宇宙の大きさやその誕生について美しい映像を織り交ぜてお話いただき、「宇宙は大きい、小さいことでよくよするな」というメッセージで締めくくられました。



講演者の観山氏(60回：左)と喜久川氏(72回：右)。講演会後のアンケートではお二人に多くのメッセージが寄せられました。

次に「N字回復?」というテーマで

株式会社ウィルコム代表取締役の喜久川政樹氏(72回)より、世界規模で動く通信ビジネスのお話。ご自身の体験を基に、業績が一度落ち込んだ後再びは上がる(=N字回復)セオリーをご披露いただきました。

<うれしい黒字決算報告>

総会には、広島から安原義仁校長、河野芳文副校長、甲斐稔全国アカシア会事務局長(63回)にご来賓としてお越しいただきました。冒頭で的川泰宣東京アカシア会会長(50回)から、「当会のパワーを広く社会貢献に役立てていきたい」とのご挨拶、引き続き尾籠裕之事務局長(56回)より、昨年度の会計が、久方ぶりに黒字との報告がありました。また今後の事業計画として、この度立ち上げた東京アカシア会ホームページを世代間の交流の場にも利用したいとのことでした。

9名の物故会員に黙祷の後、ご来賓の安原新校長より、「アカシア会の結束の強さと組織の広がり秘密を教育学史的観点から明らかにしたい」とご挨拶賜りました。さらに甲斐事務局長の挨拶、日本商工会議所会頭山口信夫氏(33回)が旭日大綬章を親授されたとの吉報の披露の後、安達健一郎氏(39回)のご発声で懇親会が始まりました。

<抽選会で大盛り上がり!>

各テーブルでは昨秋同様、会の盛り上げ役であるシニア幹事(60回)を中心に、世代を超えた交流がありました。

会の後半ではアカシア会員の有志から提供された賞品の抽選会が行われ、大変な盛り上がりでした。



司会の相良秀直氏(76回)から宿泊券を受け取る近森 翠さん(55回)。賀茂鶴様、カルビー様からも、賞品をご提供いただきました。

さらに新卒会員の自己紹介、参加者全員による校歌・学生歌の斉唱のあと、恒例の榎本良二氏(69回)による中締めでは、早稲田大学応援部所属の新卒会員川上哲也氏(97回)も壇上に登場。秋には二人そろってのエルが期待できるでしょう。

本総会・懇親会では、数々の新しい企画が実現しました。参加者から寄せられたアンケートも参考としつつ、秋季会合のさらなる充実と幅広い世代の参加促進に向けて活動を開始しています。今後の東京アカシア会にご注目ください。 鍋本豊伸(76回)



関東圏で生活を始めた新卒会員の皆さん

58東京アカシア便り

私たち東京地区に住む58回卒業生にとって、最大の楽しみは何と言っても毎年5月第4週の土・日に行われる同期会。今月号12頁には大辻君のレポートもあるのですが、私も同期会のことを書きたいと思います。

名づけて「毎年集まる同期会」は、

アカシア90周年を記念して、メルパルクで久しぶりに開かれた同期会のときに、小松富貴恵さんの「来年も開こう！私が企画するから」との声から始まりました。さっそく翌1996年には 第1回目の同期会が長良川で行われ、1997年には 箱根、1998年 安芸グランドホテル、1999年 京都、2000年 お台場、2001年 尾道、2002年 六甲、2003年 鎌倉、

2004年 広島空港にあるフォレストヒルズ、2005年 広島プリンスホテル(アカシア100周年)、2006年 北九州、そして、2007年「コテコテの大阪の旅」、とすでに12年に渡って続いているのです。という訳で、小松富貴恵さんと広島の幹事である高橋映子さん、中本義信君たちのお陰で、これまで多くの懐かしい顔とめぐり逢うことができました。

58 東京アカシア会 有志一同

同期会の集まりというものは何だか不思議な人間関係だとは思いませんか？懐かしい顔に出会い、すぐに“あの頃”に戻れる訳ではありませんが、何だか時空を超越した不思議な世界に入り込んだような気持ちになります。世の中の利害関係を超越した真のひととひととの関係がそこにはあり、人生の1番多感な時期に1日の大部分と一緒に過ごした仲間だからこそ共有し得る思いとでも言うのでしょうか…、私は懐かしい同期の方々に会って何度も、慰められ元気付けられてきました。当時は話もしたことのないひととでも、今では何の戸惑いもなく話ができるということは本当に不思議な関係ですね。

私はこれまでの同期会全てに参加したわけではありませんが、1番印象的だったのは創立100周年のときです。広島プリンスでの懇親会の翌日、久しぶりに母校を訪問して懐かしい教室に座りました。そして、森野繁夫先生と片山一法先生の2名の恩師をお招きしてミニ授業をしていただきました。大

きな声で熱意をこめて私たちに話しかけて下さるお姿は昔と変りなく…いや昔以上では？とそんな思いもあり、とても印象的な恩師との再会でした。素晴らしい企画を実行してくれた大辻明君に感謝！です。

話は変わりますが、広島のお土産と言えばあの有名な「もみじ饅頭」ですが、他に人気の商品としては、川通り餅、桐葉菓、広島菜漬け、お好み焼などがあります。しかし、東京の一部の人々にとって大人気の広島土産がある

のです。それは、長崎堂の「バターケーキ」。これは広島の人なら良くご存知の品ですが、東京のあるオフィスの方々が、インターネットでサーチしていて興味を持たれたそうです。昔は行列して買わなければいけないほどでしたが、今は朝10時までに行けば買うことができるそうです。まさに東京では、幻の銘菓「バターケーキ」は隠れた人気商品なのです。

夏立つや 夢多き熟年 同期会
桑田武志(58回)



2007年「大阪の旅」より 天満天神繁昌亭と 通天閣のピリケン

東海発

東海アカシア会・豊葦会総会

冬眠中の熊も起き出すような暖かい冬だった2月18日(日)、東海アカシア会・豊葦会の総会・懇親会が開催されました。恒例の『白亜館 葵』を今回も会場に選び、期待通りの絶品料理の数々に感動しきりの参加者でした。

今回来賓には、景山三平校長と全国アカシア会事務局長の甲斐稔氏(63回)を迎えました。景山校長からは、100周年事業による母校の講堂の改装や附属学校の再編・統合の将来構想についてお話があり、長い歴史を誇る母校も、今変革のときを迎えていることを実感しました。甲斐氏からは、地域アカシア会の活性化策として、最近話題になっているSNSのミクシィ(mixi)の

活用が紹介されました。東海アカシア会の課題でもある若者の参加率アップの一手として、使えるかもしれませんね。

次に、齊藤翁会長(48回)からは挨拶とともに、ワインと恒例の景品の提供もありました。そして、沖 信一副会長(55回)から収支報告等が行われた後、中村博之監査役(43回)による全体写真の撮影へ。その後、吉本幹彦氏(41回)の乾杯で懇親会にうつりました。

さて、今回はスペシャルゲストとして、小田千恵子氏(48回)の同級生である横浜在住の佐藤慧子氏(48回)を迎え、シャンソが披露されました。愛の賛歌にうっとりとする一方で、反戦歌

はヒロシマを故郷に持つ私たちの心に深く染み入るものがありました。

また、今回は豊葦会の大先輩にあたる白石千里氏(葦30)と広瀬冴子氏(葦30)も参加されました。諸先輩方の尽力あつての今の会と思うと、感謝の念と共に今後も末永く存続していきたいと心新たになりました。

初秋の次回パーティーにもぜひみなさんお越しください。

(3月記)堀 文恵(87回)

前出以外の出席者：(40)角田龍三、(47)上野平徳三、(48)兼川 徹、(50)井道英捷、戸田 弘、(55)河本尚子、(56)板谷和昌、(63)山脇健盛、(64)橋本 徹、(78)佐藤哲郎、(81)梶 幸一郎

九州アカシア会から
お知らせ

3年前、福岡アカシア会を発展させ九州アカシア会としてスタートしました。

毎年秋に総会・懇親会を開催しています。今年も開催を予定していますので事前案内をします。

日時 2007年11月9日(金)夕刻

場所 博多全日空ホテル

九州アカシア会事務局 伊藤哲生

Tel&Fax 092-552-9300

E-mail 200845t-ito@j-com.home.ne.jp



同期会だより

喜寿を迎えた昭和18年入学組

39回(昭和23年卒)と新制1回(昭和24年卒)の私達は、戦後の学制改革によって旧制と新制に分かれ、更に科学学級という特殊な存在があって、入学は一緒でも卒業はバラバラという集団でした。

因みに、卒業生名簿によると39回(旧中の最後)と新制1回(新制高の最初)が併せて102名、40回(新制2回)が3名の他に、昭和22年4月修了が10名となっています。従って、同期会の開催が難しいといった特殊な事情がありました。大半は昭和5年生まれで、今年は「喜寿」を迎えますので、全員に共通の「昭和18年入学」と改名しました。

会場は品川プリンスホテル(長沼健君の紹介)、期日は5月18日とし、世話人4名(木村淳邦、杉岡章、田中清司、山田舜治)で相談して、参加の見込みのありそうな25名を選んで案内状を発送の結果、19名(首都圏12名、広島5名、その他2名)が出席しました。

杉岡 章



(後列) 田村・可部・福島・佐々木(胖)・安達・岩本・田中(清)
(中列) 長沼・桜井・米田・田中(省)・木村(淳)・山田
(前列) 佐藤・龍田・熊崎・熊野・福井・杉岡

40回生 喜寿同窓会の集い

数え年77歳(殆ど昭和6年生)を迎えた我々40回生は、5月26日にメルパルク広島で同窓会を開催した。出席者は18名(うち夫人2名)であったが、遠来の友として、東君、北番君を迎え、なつかしい夕べのひとつときであった。

開宴前に卒業後に物故された36名の友に黙祷を行い、喜寿にふさわしい東壽太郎君の乾杯により開宴となった。昨年秋の叙勲を受けた北番君の話、同君のハーモニカに続き、今や恒例となった田濱君の愉快なマジック、いつも変わらぬ青年・磯谷君の名調子「ガマの油売り」で宴は最高潮に達した。続いて近況報告、校歌・応援歌の合唱で締めしたが、予定を大巾に過ぎた会となった。

世話役は金子君・山口君と私から、来年は酒都西条在住の田濱君・角谷君

にバトンタッチされた。

手土産に準備した名酒(賀茂鶴大吟醸)をぶらさげて、三々五々岐路に着いた。喜寿万歳！ 小倉泰明



毎月集まれ「41期会」

私達は「41回」ではなく「41期会」という、特異な名称の同期会だ。

昭和20年。由緒ある明治の校舎に入学した私たちは、4ヶ月後に母校が被爆・壊滅。学友の半ばが、全身火傷での留年か転校などで姿を消した。

やがて時が経ち歳を重ねて懐旧の情もだしがたく、海外引き揚げなど戦後加入の級友と共に、半世紀もの消息探しの果に発見した旧友を加え、「死線を潜り、同じ釜の飯を喰った我等が同期会」として再発足したのだった。

やたら理由を付けて集まって来たものの、残り時間は少ないと気付いた今春。とうとう毎月第二水曜日の午後「昼の二水会」なる「定例41期会」の開催を決定。第1回は5月9日、午後1時、広島の「芸州本店」だった。

参集せよ、全国の我等が友よ。次回は8月6日の「慰霊式」後に「喫茶さえき」正午だ！ 新井俊一郎



古希記念同期会のアカシア46回同期

一昨年の母校創立百周年、昨年は卒業50周年、そして今年は「古希」記念と3年連続の広島での記念同期会となりました。古来稀といわれる「古希」とはいえ卒業時の同期161名中138名約85%が何とか元気です。田中昭男、磯貝英夫二人の担任の恩師に出席いただき、4月13日～15日の3日間にわたり、前夜祭・ゴルフ・パーティ・三次バスツアーを行いました。終始和気藹々、学生時代にもどり、前夜祭では広島の海の幸を満喫、パーティでは「校歌」「学生歌」の大合唱。二次会、三次会と元氣なところを披露する同期生もあり、

参加は全62名。最後の三次バスツアーにも観光バスがちょうど満員になるほどの盛況で、奥田元宋美術館など見学、比婆牛のバーベキューで三次ワインの昼食もなかなかの好評。次の再会が早待ち遠しいという声もあがるほどでした。まだまだ現役で仕事をつづけている頼もしい同期生も多数います。

田中国重



4月14日ホテルグランヴィア広島にて

56回同期会in高松

5月19日全日空ホテルクレメント高松で56回生のプレ60歳の同期会を開催。第二の人生をスタートした方、老介護に従事されている方など諸事情を押して多数ご参加を頂き喜びと感謝の念でいっぱいです。徳島在住の清水氏と共に幹事をさせて頂き、東京・大阪・岡山・広島・山口・長崎から、松井坦先生、丸亀在住の福森信夫先生をお迎えして総勢37名が高松の地で集い、役者が揃いかなり中身の濃い面白いパーティを開く事ができました。翌20日は香川と言えぼうどん！朝9時半より希望者18人で、地元の人も行きかねるうどん屋2軒、湯水が懸念される日本一のため池・満濃池見学付きのうどんツアーにも出かけました。皆さん！「UDON」の映画よりも百聞は一見にしかず、ですよ。来年の56回生還暦会は広島で開催の予定。来年も笑顔で還暦会に出席できる事を楽しみにしています。 清水 剛、中村(三宅)ふじ子



58回同期会「コテコテの大阪の旅」

今年も集いました58回同期会。題しまして「コテコテの大阪の旅」ということで、大阪はミナミを舞台にしました。第1部は5月26日13時から天満天神(繁盛亭)で落語を堪能。第2部の宴会は「天王寺都ホテル17階日本料理松崎」。当然同ホテルラウンジでの二次会も。第3部は翌日、通天閣から道

頓堀へとミナミの散策、昼食はふぐ料理付き「頓堀クルーズ」と、大阪満喫の2日間となりました。

第2部参加者は24名、大阪でならと待ち構えていた人もいたとか。今回の最大の話は、何と言っても日高君の結婚でした。57才にして初婚、とうとう年貢を納めてしまいました。ということでこの夜の話題独占者が日高君であったことは間違いありません。

何はともあれ今年も無事終了、大阪の幹事さんご苦労様でした。来年は卒業40周年ということで、広島開催を予定しています。 大辻 明



アカシア65 お伊勢参りの巻

恒例のアカシア65旅行が6月2・3日に開催され、広島・東京から女子6名、男子3名が参加し、今年も弥次喜多願負けのお伊勢参りとなりました。新大阪駅に集合し、貸切バスで伊勢神宮に到着したところ、平成25年の式年遷宮の御用材を曳く「お木曳き」に参加した白装束の人達で大混雑でした。内宮・外宮のお参り、「おかげ横丁」での買出しを無事終えて、宿泊先の南鳥羽に向かったのです。夕食に舟盛りが出て、美人の女将が挨拶に来て盛り上がったところで、部屋に引き上げ二次会です。高校時代の思い出話に花が咲き、あっという間に時間が過ぎてしまいました。翌3日は修学旅行のノリで、二見が浦の夫婦岩や伊賀上野の忍



者屋敷ではしゃいだ後、新大阪の居酒屋でお別れ宴会。この濃厚な2日間を振り返り、最後まで盛り上がりました。いつまでも仲よしの65回卒業生です。

山本俊彦

第71回生新年会兼同窓会報告記

去る1月2日、年始行事としては最早恒例になりつつある第71回生新年会が八丁堀の居酒屋「万べい」において行われました。今年のはるばる北海道からの参加者もあり、更に南村俊夫先生を特別ゲストにお迎えして総勢25名で大変賑やかな会となりました。初めはややぎごちなかった雰囲気も乾杯の発声の後にはあっという間に高校時代へと逆戻り。クラブ活動やクラスマッチなどの話題に花が咲いていましたが、やはり一番盛り上がったのは男女交際(死語?)の話題でありました。そして二次会は流川のカラオケボックスに移動。70、80年代ヒットメドレーを全員で熱唱しつつ、改めて附属で過ごした日々を思い出しました。有志数名はその後も某スナックにて三次会を敢行。楽しい夜は怪しい夜へと変貌を遂げつつ更けて行ったのでした。 藤田信弘



右から2人目が南村俊夫先生

アカシアサッカークラブ

去る6月3日(日)、附属高校グラウンド及びリーガロイヤルホテル広島にて、現役戦(OB対附属中学)及び総会が開催されました。

現役戦では、20名のOBが参加し年齢を感じさせないハツラツとしたプレーを披露。試合は途中まで0対0の膠着状態が続き、最後に白井敬司さん(63)からのクロスが小城得達さん(51)に渡りそのボールを流したところで林 道

義さん(51)が走りこんでシュート!これが決勝点となり1対0で見事勝利。世代間の融合が上手くいった印象で怪我もなく気持ちいい汗を流しました。

33名出席の総会では、決算・予算が承認されました。続いての懇親会では、野村尊敬さん(50)の挨拶のあと、長沼 博さん(33)に乾杯のご発声をいただき、吉田文次郎さん(43)の中締めという言葉で閉会となり、今後の現役チームの活躍を期待しながら帰路につきました。 中畝将博(83回)



アカシア歯科医会

4月27日コフレールにて役員会を開催。山崎義之会長(45)の構想に沿った19年度の基本方針を協議した。

[人事] 若い会員が多く在籍する広島歯学部との連携を密にするため、富士谷盛興教授(65)を副会長に置く。また、前会長で最長老の香川庄平氏(43)と、4月より広島市歯科医師会の会長に就任した森本克廣氏(54)を顧問とする。 [会員資格] 広島近辺に限定せず、アカシア会員で歯科医師であれば歓迎する。また、会費は行事ごとに集め、年会費は徴収しない。

[19年度総会] 月例会参加者増員の一助になればということで、19年度の総会は、まず8月17日の月例会アカシア会に参加して食事。その後総会と懇親会を行うことで準備に入る。

役員会終了後、森本克廣氏の広島市歯科医師会会長就任祝賀会に移った。「広島市歯科医師会をベースに国民の理解が得られるような歯科界にしていきたい」との森本氏の挨拶の後、津賀一弘氏(69)の閉会の辞まで、和気藹々の楽しい時を過ごした。 香川周平(58回)



広島大学附属高等学校ならびにアカシア会のますますのご隆盛を祈ります

アカシア会66回卒業生一同(昭和51年卒)



6月例会レポート

アジアと日本～インドとの関係を中心に
中国新聞社論説委員 岡馬重充氏



最近、新聞やテレビでアジア、特に中国やインドに関連した情報が増えている。安倍晋三首相は「アジア・ゲートウェイ構想」を打ち出し、アジアの活力を日本に採り入れようと戦略会議も進めている。中でも急成長で注目されるインドは「価値観が同じ」民主主義体制の国として脚光を浴びる。昨年インドに行き、実質1週間インドの3都市を中心に回ったが「1週間でわかる国ではない」とわかった。

<インドという国>人口は日本の10倍(10億8000万人)、面積は約9倍。宗教はヒンドゥー教80%、イスラム教徒13%、キリスト教徒2%、シーク教徒1.9%、仏教徒0.8%

<根強いカースト制度>1番上：ブラミン(5%)宗教者、2番目：クシャトリア(7%)王族、戦士等、3番目：ヴァイシャで(3%)平民、商人階級、4番目：スードラ(60%)奴隷、征服された先住民族、最下層；アウトカースト(25%)不可触民。同業者集団でもあり、全部で約2000~3000ものカーストがあるとも言われている。

<急成長するIT企業>国内総生産(GDP)が年率8%以上、驚異的に伸びている。一番の理由はITの隆盛。IT産業は年20~30%伸び、インドの国内総生産(GDP)=約100兆円、日本は約500兆円=が年平均8%の伸びを続ける支えになっている。インドでITサービスの企業が発展した理由：1)アメリカとインドの12時間の時差；アメリ

カが夜の内に、時差でこの時間帯が昼間であるインドにおいて総動員し、メンテナンスやソフトの入れ換えが可能である。2)若い人材が豊富；25歳以下の人口が半数。早くから技術者育成に国を挙げ取り組んでいた。3)カースト制度との関係；IT産業は新しい職業なのでカーストの中に規定されていない、誰でも仕事に就くことができる。

<熱心に学ぶ若者>最高レベルのインド工科大学(IIT)があり、初代首相のネルーが「将来の国を支えるのは技術力」といって創立。毎年400万人の理数系の学生が高校を卒業し、約30万人がインド各地に7校あるIITの共通入試を受けるが合格者は5000人(競争率60倍)。就職先はインド国内のIT企業、アメリカへ行く卒業生も多い。

<雑踏とスラム街>都市部はどこに行っても道路は渋滞。インドの農業はITに比べると大きく立ち遅れる。地球温暖化の影響等で雨が少なくなり、小麦等が不作であることが高成長の足を引っ張らないかという懸念も。農民の自殺者も増え、こうした中で都市に流れ込む人々が増えスラムが膨張してきた。

<豊富な観光資源>有名なタージマハルは、ムガル帝国の第5代シャージャハンが31歳で亡くなった妃のために22年もかけて建てた墓である。

<インド人のプライド>インド人には大国意識のようなプライドの高さがある。核兵器保有国でもあるが、核拡散防止条約(NPT)に加盟していない。核保有が「大国」の証明にはならず抑止力にならないことを、被爆国としてインドの人々に説明しないとイケない。日本としては、アジアの国々と互いに補い合う関係を築くことが大切。勤勉さの文化を取り戻し、技術力を継承していかねばならない。地方や過疎地等、かつて国を支え今は陰になっている部分に、もっと光を当てないといけないと思う。



開会挨拶の新井俊一郎氏(41回) 乾杯の菊地日朗氏(41回)

6月例会出席者(敬称略46名)

卓話講師 岡馬重充、副校長 河野芳文、(39)木村淳邦、(41)新井俊一郎、菊地日朗、(43)後藤吟子、(44)山本正一、(49)市岡徹也、(50)井藤壯太郎、小川玲子、(51)上土康弘、茶藤健治、鼻岡甫訓、(53)馬場則行、山手愠正、(55)北村 等、近森 翠、(57)天晶純子、(62)俵 透、山口隆子、(63)甲斐 稔、(67)高橋裕子、竹爪真弓、(69)岩崎純子、瓜生智加子、岡馬律子、佐伯俊成、重富法子、白川 昌、中尾麻里、中谷忠司、仁井内 浩、宗田和子、(75)井坂雄幸、坂江知雄、杉山智恵、滝口修司、寺本真司、豊田紀代子、中川祥子、三浦陽子、三歩千晴、(76)後藤 誠、松浦勇人、(90)岡本春彦、渡辺大祐



北村氏(55回)と岡馬重充・律子(69回)夫妻



河野副校長と90回の岡本氏・渡辺氏



市岡氏(49回)、茶藤氏(51回)、甲斐氏(63回)



69回の宗田さん、重富さん 67回の高橋さん、竹爪さん

掘りだそう、自然の力。

Calbee

天然えびを丸ごと使用

思い出すと、食べたくなるでしょ。

カルビー株式会社

『新・教師列伝(中)』 刊行される！

(元副校長 小山 清著、B6版、94ページ)

平成15年2月～本年1月まで、会報誌面に48回にわたり連載された「教師列伝」では、多くの元教官の横顔が紹介されました。昨年7月には、その中から75名の先生方を描いた、『新・教師列伝(上)』が上梓されました。

このたびその続編で、明治から昭和期に在籍された元教官77名が掲載された『新・教師列伝(中)』が刊行されました。巻末には「新制発足時の教職員」も付載され、戦後復興期の先生方の生き生きとした情景が甦っています。ご希望の方は、実費1,000円(送料を含む)を添えて、アカシア会事務局までお申し込みください。上巻も1,000円にて好評発売中。

「新・教師列伝(中)」に掲載されている先生方

高橋憲一、渡辺辰次郎、栗原源治、臼井常介、桐谷岩太郎、加藤虎之亮、スミス夫人、丸山英一、小林致哲、野村歳太郎、上田畊甫、杉浦邦司、岡本圭輔、財津愛象、稲村純一、辻野周治、プリングル、吉富石次郎、手塚三郎、ウィーバー、ハッチンソン、上田八一郎、松川重四郎、三沢 糾、波木井九十郎、正田 隆、桜井 役、内田琢磨、小和田惟徳、塚原政次、内藤右平治、城野亀吉、加藤平左衛門、広島俊三、倉田太一、高松又輔、米田 登、山内真喜男、相原克巳、桂 喜一、小川二郎、今井壯一、宮崎筍吾、牟田豊治、池田計三、河野喜好、吉川正二、竹村 弘、勝部謙造、佐久間 澄、真部忠雄、伊藤 寛、田中清三郎、来馬鉄吾、位地 正、小谷 等、高田平八郎、中村 正、尾世悦美、船越順三、山田正明、曾根原周平、森田 武、横手三千雄、末田 賢、鎌塚 扶、永田知子、垣田直巳、杳木一郎、井道玉温、安永義夫、宇野 芳、中村 法、柳生 昌、飯田正宣、内海 巖、新上 勇 (以上77名)

寄付をいただきました

既に、1月18日(木)の月例会アカシア会新年互礼会にてご報告しておりますが、改めてアカシア会報にてご報告いたします。

昨秋、故山本初之助氏(23回卒・平成13年2月ご逝去)の奥様の山本末子様より、初之助氏が生前アカシア会の皆様と親しくお付き合いをさせていただいた事に対し、感謝の意味を込めてアカシア会に寄付をしたいとお申し出がありました。石井会長に報告のうえ、常任幹事会に



ありじの山本初之助氏
(1932年卒業アルバムより)

諮り、お申し出を拝受して1月16日に百万円のご寄付をいただきました。

新年互礼会に山本末子様をお招きし、感謝状をお渡しするよう準備しておりましたが、残念ながら体調を崩されてお越しいただけませんでしたので、新年互礼会で寄付のご披露をすると共に、後日感謝状を贈呈させていただきました。

なお、ご寄付いただいた百万円については、基金に繰り入れ、ご芳志に違わぬ用途を検討する事としております。

アカシア会事務局長 甲斐 稔

常任幹事会開催



6月13日(水)夕刻よりアカシア会館にて、全国アカシア会の常任幹事会が開催された。

名簿検討委員会からは、1100部の名簿が完売したことから来秋から例年通り毎年名簿を発行することが報告された。会報編集委員会からは、新しく月例版に「友誼の御園」と「出てみろうてもええかいのお」、全国版に「アカ

シア夜話」の連載を開始したことが報告された。広島アカシア会からは、月例懇談会企画委員会(仮称)を設置することが報告された。

そのほか、アカシア会のホームページを改良したこと、アカシア100ホームページをアカシアコミュニケーションサイトに改変しつつあることなどが報告された。

事務局だより

◆維持会費未納の方へ

「維持会費未納の方へ」が入っている方は、維持会費1万円(または年会費1000円)を、同封の振込用紙でお振込みください。(名簿代金を込まないようお願いいたします。)

◆学年のお世話役の皆様へ

同期会案内などのために、宛名印刷をご希望の場合は、有料(200人分で2000円)にてタックシール印刷をします。詳しくは事務局まで。

◆巧みな問合せに注意

学校事務室や同窓会事務局の名前を使って、卒業生の進学先や住所などを問い合わせる電話がかかることがあるそうです。不審な場合は「こちらから改めて電話します」などの対応が必要かと思われまます。

◆会報への広告を載せません

月例会報、全国版会報に広告をご希望の場合は、アカシア会事務局まで。8～9頁中央下段もご覧ください。

◆アカシア会会員数(07年6月4日現在)

1回(明治43年卒)～97回(平成19年卒)の全会員14,256人(男9,838人、女4,418人)。そのうち、現存会員10,669人、物故会員2,635人、不明952人。

お礼

2007年度版アカシア会会員名簿は好評のうちに、完売しました。ありがとうございました。

次回は、2008年秋発行の予定です。

アカシア会報について

—全国版(1月&7月発行)—

全国のアカシア会員、在校生および特別会員に無料でお届けしています。

1月と7月の年2回発行し、同期会や地区会等の情報を掲載しますので、皆様からのお便りをどしどしお寄せください。(締切は発行の1カ月前)

4月号から新連載、「友誼の御園～母校だより～」と、会員リレー方式による「出てもらうてもええかいのお」が始まりました。ひき続き連載を読みたい方は月例会報をご購読ください。

—月例版(年間10回発行)—

年間購読料をお支払いいただいた方に、全国版以外の年10回、お届けしています。毎月の例会レポートのほか、タイムリーな情報を満載しています。

新規のご購読をお待ちしています。

★月例会報の購読をご希望の方は、平成19年度年間購読料2,000円をお振込み下さい。

郵便振替「01300-6-34213 月例アカシア会」

(今年度バックナンバーもお送りします)

(((アカシア会ホームページが変わる!!)))

①今年2月にカウンタをつけました。3ヵ月半でアクセス数が2,000を超えました。

②トップページに、「アカシア会 会員ミニ情報」を設けました。

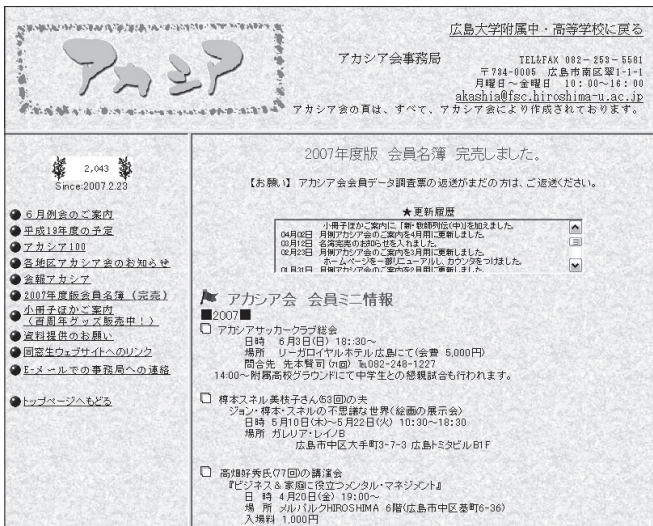
会員に関する情報をたくさん載せるよう努力しています。自薦他薦を問いませんので情報をお待ちしています。

③ホームページから「住所変更届け」、「アカシア会事務局への情報提供」、「月例アカシア会報申込」の連絡ができるようになりました。

ホームページに関するご意見ご要望をお寄せ下さい。

akashia@fsc.hiroshima-u.ac.jp

母校創立百周年の際「アカシア100周年記念ページ」として使われていたホームページを、「アカシア会 コミュニケーションサイト」として今後利用していただきたいと思い、改変中です。



アカシア会ホームページ
<http://www.akashia@fsc.hiroshima-u.ac.jp/~akashia/>



アカシア会コミュニケーションサイト
<http://www.acacia100.net/>

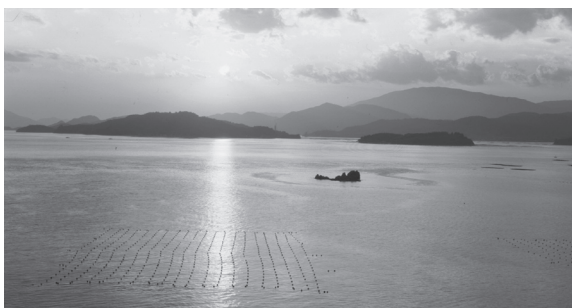
飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造蔵 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31
TEL (082) 422-2121
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸薬町1-12-9
TEL (03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行 (43)



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌って
果てもなく 夢かりたてる
歓びの歌 辛きその日も